

安曇野の美しさをマンホールでも

6/30 下水道マンホール蓋デザイン最優秀賞表彰

昨年4月8日から6月7日までの募集期間に105点の応募があった、下水道マンホール蓋デザインの最優秀作品の表彰式を行いました。市民投票の結果、野溝理恵さん(豊科)の「水鏡」が最優秀賞に選ばれました。野溝さんは「水鏡の見える時期は限られているが、マンホール蓋をとおしていろいろな人に美しい安曇野を見てもらえたら嬉しい」と受賞の喜びを話しました。

新しいデザインの蓋は、9月末までに豊科駅前と穂高駅前の歩道に1カ所ずつ設置される予定で、以降は修繕の必要な蓋と交換していきます。



下水道マンホール蓋デザイン
最優秀賞 表彰式



市民からの「善意のマスク」施設へ

7/14 善意のマスク配布

市役所や各支所等へ回収箱を設置し、市民の皆さんから寄付を募った「善意のマスク」は、7月13日までに3,345枚のご協力をいただきました。寄せられたマスクは市内福祉施設等へ順次配布していきます。7月14日には、有料老人ホーム愛光苑とよしなへ120枚のマスクを届けました。村瀬史子施設長は「利用者の皆さんにお渡しします。この状況がいつまで続くか分ならず、とてもありがたいです」と笑顔でマスクを受け取りました。

善意のマスクの回収箱は、7月末まで継続設置を予定しています。

男子100m・200m 落合華七斗(堀金)、女子200m 福田笑未(堀金)【高校陸上】女子100m・200m 北沢葉(豊科)、個人女子400m 三和瑠夏(松本国際)、円盤投げ 岡村樹優(池田工業)、棒高跳び 深尾光希(松本工業)【フィギアスケート】小倉優雨(松本深志)【高校ソフトテニス】原美夢華・白井優月(松本蟻ヶ崎)【高校テニス】男子個人ダブルス 山田飛翔(松商学園)【高校弓道】男子個人戦 三浦颯悟(松商学園)【高校ボウリング】中嶋諒(松商学園)

●奨励賞(団体)：【中学陸上】女子共通100mハードル障害 小林柑南(三郷)、少年成年共通4×100mリレー 落合華七斗(堀金)【高校バスケットボール】中尾祐希・平林優奈・鯉川優那・熊野礼紫(東海大学付属諏訪)【高校空手道】女子団体組手 山越星(松本第一)【高校軟式野球】古田恭琉・望月康宏(松本筑摩)、野口学都(松商学園)【高校サッカー】熊谷大樹・櫻井愛斗(松本筑摩)、中村純哉・瀧澤大輔・小林丈太郎・馬淵金輝・篠原ユウタ・堀内陸(松本国際)【高校バドミントン】須山セルソ和広(松本筑摩)【高校バレーボール】江本友香・田尻恵玲奈(東京都市大学塩尻)、北林心愛・青柳汐都音・平田奈桜(松商学園)

全国で活躍する皆さんを表彰

安曇野市体育協会令和元年度表彰

昨年度全国大会などに出場した市出身、市内校に所属する皆さんが市体育協会により表彰を受けました。なお、本年は表彰式を行わず、受賞者に表彰状が送付されました。

【市体協表彰】

●特別栄光賞：【JKAアジア・オセアニア空手道選手権】12歳組手の部3位 鈴木翔大(安曇野空手道連盟)、12歳形の部準優勝 堤朱伊(真武館)

●栄光賞：【全国ラージボール卓球大会】男子シングルス65歳以上の部第3位 中山久(堀金卓球クラブ)【北信越小・中学生空手道選手権大会】小学3年女子組手優勝 富永笑歌、小学1年女子形・組手優勝 須澤泉天(真武館)

●奨励賞(個人)：【中学ソフトテニス】矢巻希乃香・長崎あき(穂高西)【中学陸上】女子100mハードル障害 小林柑南(三郷)、

市商工業審議会へ経営支援策を諮問

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内中小企業者等の経済的被害と支援策について、市商工業振興審議会(会長 高橋秀生市商工会長)へ諮問を行いました。6月30日、市役所本庁舎で開催された同審議会

景況に不安を抱く市内企業者の規模や範囲は全般に及んでおり、有効な施策を効果的に、経済活動の維持を図ることは、市民生活の安定を図る上で、最も重要な課題の一つです。宮澤市長は、臨時休業や営業時間の短縮等に協力いただいた事業者に向けて感謝を伝えると



宮澤市長(写真左)から諮問書を受け取る高橋会長(写真右)

ともに、「経済活動の立て直しを図り、事業を持続させていく上で必要な支援について、専門的な立場から議論していただきたい」と呼び掛けました。早急な支援につなげるため、審議会は7月中に答申を取りまとめ、市は答申内容を受け、支援内容を検討していきます。

大雨特別警報が発令 避難勧告も

激しい雨が降り続いた7月8日、安曇野市に大雨特別警報が発令されました。市では、明科地域の一部に避難勧告を発令し、同日、災害対策本部を設置しました。宮澤宗弘本部長は「情報収集に努め、市民の安全確保につなげていく」と述べ、対策等を協議しました。

8日は6校の小中学校と4つの認定こども園を休園にしたほか、避難所を5カ所に開設。避難所では、マスクの着用や消毒液の持参を呼び掛けたほか、入り口で健康チェックや検温を実施し、新型コロナウイルス感染症対策を行いました。市内では、人命に関わる被害

は発生しなかったものの、犀川では明科の観測所で一時、氾濫危険水位を超えたほか、床下浸水や市道沿いの法面が崩れる等の被害がありました。市では、市内の被害状況の把握を進め、今後の支援の検討や防災・減災対策を進めてまいります。(7月14日時点)



対策本部会議で協議する宮澤宗弘本部長